

## 「アジアの民話ってどんなお話？なぜ母語が大切なの？」 ～2月21日は国際母語デー～

教育を通じたアジアの子どもたち自立支援を行っている社団法人シャンティ国際ボランティア会（会長 若林恭英／所在地東京都新宿区／URL <http://www.sva.or.jp> 以下SVA）は、2月21日の国際母語デーに先立ち、16日（火）19時よりSVA東京事務所で、「アジアの民話ってどんなお話？なぜ母語が大切なの？」～2月21日は国際母語デー～を開催します。

### 世界の約 6000 言語のうち、95%が消失してしまう？

各民族が長い歴史のなかで築き上げてきた文化とそれを支える言語は、ひとが持つ豊かな可能性の現れ。それが消えるということは人間の尊厳や自尊心が失われることにつながります。

この状況に対してユネスコ（国連教育科学文化機関）は、「国際母語デー」を設置し、母語の振興を通じて異なる民族・文化間の寛容と尊敬を確立することを宣言しました。

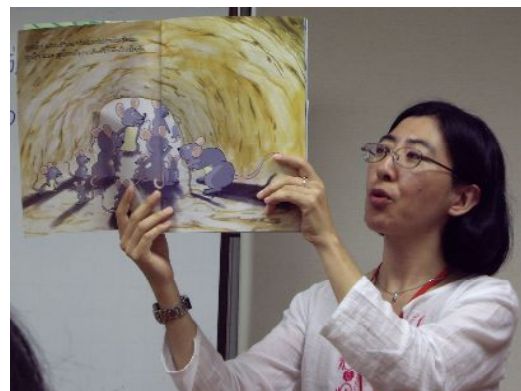
カンボジアの初等教育を支える「ハンカチの木」代表の木村瞳さんをお迎えして、なぜ母語が大切なのか、守らなければならないかを一緒に考えます。

### 日本初公開！アジアの民話絵本の読み聞かせ

SVAでも教育文化支援の一環として、カンボジア・ラオス・ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ・アフガニスタンにて民話絵本を出版しています。

今回、2009年に出版した24タイトルのなかから特におもしろいお話をピックアップし、読み聞かせをします。

現地の学校や図書館、移動図書館に配架されたこれらの絵本は、毎日たくさん子どもたちに読まれています。日本の民話にはないようなストーリー展開に引き込まれること間違いなし！アジアの子どもたち同様に民話を楽しみましょう。



ラオスの民話絵本の読み聞かせ

#### ■ イベント概要 ■

日時 2010年2月16日（火）19:00～20:30（開場 18:30）

[プログラム]

19:00 開会

19:03～19:20 木村瞳さんのお話「母語と絵本（おはなし）」

19:20～20:10 民話絵本の読み聞かせ

カンボジア・ラオス・ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ・アフガニスタン

20:10～20:25 読書タイム、質疑応答

20:30 終了

会場 SVA東京事務所（最寄駅 JR総武線 千駄ヶ谷駅/信濃町駅）

定員 30名

入場料 無料。ただし、古本を一冊以上お持ちください。（リサイクル・ブック・エイドを通じて、アジアの子どもたちの教育支援に充てさせていただきます）

申込先 社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）国内事業課 亀井

[pr@sva.or.jp](mailto:pr@sva.or.jp) TEL 03-6457-4585



2010年は国の定める「国民読書年」



-当りリリースに関するお問い合わせ-

社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）

所在地 : 東京都新宿区大京町 31 慈母会館 2F

ホームページ : [www.sva.or.jp](http://www.sva.or.jp)

メールアドレス : [kamei@sva.or.jp](mailto:kamei@sva.or.jp)

広報担当 : 亀井千寿（カメイチズ）

電話 03-6457-4585 FAX 03-5360-1220

SVAは1981年より、アジアで教育文化支援活動を行っています